

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EL

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EL

17pt

あ
ア
!

あ あ い う え お か き ぎ く ぐ け げ こ ぎ ざ し じ す ず
せ ぜ そ ぞ た だ ち ち っ つ づ て で と ど な に ぬ ね の ほ ぼ び び び
ふ ぶ ぶ へ べ ぺ ほ ぼ ぼ ま み む め も や や ゆ ゆ よ よ ら り る れ ろ
わ わ ゐ を ん ア ア イ イ ウ ウ エ エ オ オ カ ガ キ ギ ク グ ケ ケ コ コ
サ ザ シ シ ス ス セ セ ソ ソ タ ダ チ テ ツ ツ ヅ テ デ ト ド ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ バ パ ヒ ビ ピ フ ブ プ ヘ ベ ペ ホ ボ ポ マ ミ ム メ モ ヤ ヨ ユ ユ ヲ
ラ リ ル レ ロ ヲ ワ ヰ エ ヲ ヌ ヴ カ ケ
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 …… () [] {} ◇ ◆ 「 」 『 』 【
、 。 , . : ; ? ! ` ° — _ \ ` ~ | ¥ \$
% # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ ◻ ◼ ▲ ▼ ▽ ▾ = ○
@ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [] ^ _ `
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! " # \$ % & ' () * + , - . /
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < = > ? { }

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EL

ふたりは、いよいよのまえの、すいしやうぎいくやうに
みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
した。そこからはぼのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
せいこうのなかへとおってぬました。さきにおりたひと
ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、
ふたりは、いよいよのまえの、すいしやうぎいくやうに
みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
した。そこからはぼのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
せいこうのなかへとおってぬました。さきにおりたひと
ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、

勢蓮呉竹仮名 Classic OT R

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT R

17pt

あ
ア
!

ああいいうええおおかがきぎくぐけげごごさざしじすず
 せぜそぞただちっつづてとどなにぬねのはぼぱひびぴ
 ふぶふへべへほほほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
 わわぬゑをんアアイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
 サザシジスズセゼソゾタダチヂツツヅテデトドナニヌネノ
 ハバパヒビピフブプへべへホボポマミムメモヤユユヨ
 ラリルレロワヰヱヲンヴカケ
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 …… () [] {} ◇ ◆ 「 」 『 』 【
 、 。 , . : ; ? ! ` ° _ \ ` ` ~ | ¥ \$
 % # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◻ ◼ ▲ ▼ ▽ ▾ = ○
 @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [] ^ ` _
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! " # \$ % & ' () * + , - . /
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; < = > ? { }

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT R

ふたりは、いしやばのまえの、すいしやうぎいくやうに
 みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
 した。そこからはぼのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
 せいこうのながへとおってぬました。さきにおりたひとた
 ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
 ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、
 どころか、かいていきました。
 あかるいムラサキが、かつたで
 でんとうが、ひとつついてるばかり、
 だれもいませんでした。そこらじゆうを
 みて、えきいんやあかぼうらしいひと
 の、かげもなかつたのです。

勢蓮呉竹仮名 Classic OT M

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT M

17pt

あ
ア
!

ああいいうええおおかがきぎくぐけげごごさざしじすず
 せぜそぞただちちつつつてでとどなにぬねのははぱびびび
 ふぶふへべへほほほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
 わわぬゑをんアアイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
 サザシジスズセゼソゾタダチヂッツツツテデトドナニヌネノ
 ハバパヒビピフブフへべへホボポマミムメモヤユユヨ
 ラリルレロワヰヱヲンヴカケ
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 …… () [] {} ◇ ◆ 「 」 『 』 【
 、 。 , . : ; ? ! ` ° _ \ ` ` ~ | ¥ \$
 % # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◻ ◼ ▲ ▼ ▽ ▾ = ○
 @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [] ^ _ `
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! " # \$ % & ' () * + , - . /
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < = > ? { }

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT M

ふたりは、いしやばのまえの、すいしやうぎいくやうに
 みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
 した。そこからはばのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
 せいこうのながへとおってぬました。さきにおりたひとた
 ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
 ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、
 どころが、ひとついでに、すいしやうぎいくやうに
 だれもいませんでした。そこらじゆうを
 みて、えきいんやあかぼうらしいひと
 の、かげもなかつたのです。
 あかるいムラサキが、かつたで
 ぐちへかけていきました。
 と、あかるいムラサキが、かつたで

勢蓮呉竹仮名 Classic OT DB

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT DB

17pt

あ
ア
!

ああいいうええおおかがきぎくぐけげごごさざしじすず
 せぜそぞただちちつつつてとどなにぬねのはばぱひびぴ
 ふぶふへべへほぼほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
 わわぬゑをんアアイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
 サザシジスズセゼソゾタダチデツツツテデトドナニヌネノ
 ハバパヒビピフブフへべへホボポマミムメモヤユユヨ
 ラリルレロワヰヱヲンヴカケ
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 …… () [] {} ◇ ◆ 「 」 『 』 []
 、 。 , . . : ; ? ! ` ° _ \ ` ` ~ | ¥ \$
 % # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◻ ◼ ▲ △ ▽ ▼ = ○
 @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [] ^ ` ` _
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! " # \$ % & ' () * + , - . /
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < = > ? { }

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT DB

ふたりは、いしやばのまえの、すいしやうぎいくやうに
 みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
 した。そこからはばのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
 せいこうのながへとおってぬました。さきにおりたひとた
 ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
 ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、
 だれもいませんでした。そこらじゆうを
 みて、えきいんやあかぼうらしいひと
 の、かげもなかつたのです。
 であつたで
 ところがかいさつぐちには、
 ぐちへかけていきました。
 てドアをとびだしてかいさつ
 ふたりはいちどにはねあがつ

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EB

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EB

17pt

あ ア !

ああいいうええおおかかきぎくぐけげごごさざしじすず
 せぜそぞただちちっつづててとどなにぬねのはばぱひびび
 ふぶふへべへほほほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
 わわぬゑをんアアイイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
 サザシジスズセゼソゾタダチデツツツテデトドナニヌネノ
 ハバパヒビピフブフへべへホボホマミムメモヤユユヨ
 ラリルレロワヰヱヲンヴカケ
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 0123456789..... () [] {} ◇ ◊ 「 」 『 』 []
 、 。 ， ・ ・ ・ : ; ? ! ` ° _ \ ヽ ヌ ャ ュ — — — / \ ~ | ¥ \$
 % # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◻ ◼ ▲ △ ▼ ▽ = ○
 @ABCDEFGHIJKLMNPQRSTUVWXYZ[]^_`
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz!"#\$%&'()*+,-./
 0123456789:;<=>?{|

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT EB

ふたりは、いちどにはねあがっ
 てドアをとびだして、かさつ
 ぐちへかけていきました。
 と、ころが、かさつぐちには、
 あかるいムラサキがあったで
 んと、うが、ひとつについているばかり、
 だれもいませんでした。そこらじゅうを
 みて、えきいんやあかぼうらしいひと
 の、かげもなかつたのです。

ふたりは、ていしばのまへの、すいしょうぎくやうに
 みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
 した。そこからはばのひろいみちが、まっすくにぎんがの
 せいこうのなかへとおってぬました。さきにおりたひと
 ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
 ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、

勢蓮呉竹仮名 Classic OT H
REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT H

17pt

あ
ア
!

ああいいうええおおかがきぎくぐけげこごさざしじずず
せぜそぞただちちっつづてとどなにぬねのはばぱひびび
ふぶふへべへほほほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
わわぬゑをんアアイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
サザシジスズセゼソゾタダチデッツツツテデトドナニヌネノ
ハバパヒビピフブフへべへホボホマミムメモヤユユヨヨ
ラリルレロワヰヱヲンヴカケ
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 …… () [] {} ◇ ◊ 「 」 『 』 []
, . , . . : ; ? ! ` ° _ \ ` ~ | ¥ \$
% # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◻ ■ ▲ △ ▽ ▼ = ○
@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[]^_`
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz!"#\$%&'()*+,-./
0123456789:;<=>?{ }

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT H

ふたりは、いちどにはねあがつてドアをとびだしてかいたつぐちへかけていきました。ところが、かいたつぐちには、あかるいムラサキがあったのでんとうが、ひとつづいてるばかり、だれもいませんでした。そこらじゆうをみて、えきいんやあかぼうらしいひとの、かげもなかったのです。

ふたりは、ていしゃばのまえの、すいしやうぎいくやうにみえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにました。そこからはばのひろいみちが、まっすぐにぎんがのせいこうのなかへとおってぬました。さきにおりたひとたちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、

勢蓮呉竹仮名 Classic OT U

REN FONT/ タイポグラフィクス蓮

120pt

勢蓮呉竹仮名 Classic OT U

17pt

あ
ア
!

ああいいうええおおかがきぎくぐけげごごさざしじすず
 せぜそぞただちちつつつててとどなにぬねのははばびびび
 ふぶふへべへほほほまみむめもややゆゆよよらりるれろ
 わわぬゑをんアアイウウエエオオカガキギクグケゲコゴ
 サザシジスズセゼソゾタダチデツツツテデトドナニヌネノ
 ハバパヒビピフブフへべへホボポマミムメモヤユユヨヨ
 ラリルレロワヰヱヲヅヅヅヅ
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 0123456789..... () [] {} ◇ ◊ 「 」 『 』 []
 、 。 , . - : ; ? ! ` ° _ \ / ~ | ¥ \$
 % # & * @ ☆ ★ ○ ● ◎ ◆ ◊ □ ■ ▲ △ ▼ ▽ = ○
 @ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ[] ^ _ `
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz!"#\$%&'()*+,-./
 0123456789:;<=>?{}

12pt / 18pt / 25pt

70pt

ふたりは

勢蓮呉竹仮名 Classic OT U

ふたりは、いしやばのまえの、すいしやうざいくやうに
 みえるぎんなんのきにかこまれた、ちいさなひろばにま
 した。そこからはほのひろいみちが、まっすぐにぎんがの
 せいこうのなかへとおってぬました。さきにおりたひとた
 ちは、もうどこへいったかひとりもみえませんでした。
 ふたりがそのしろいみちを、かたをならべていますと、
 だれもいませんでした。そこらじゆうを
 みて、えきいんやあかぼうらしいひと
 の、かげもなかつたのです。
 であんとうが、ひとつついてるばかり、
 あかるいムラサキがかったで